

INON

LD レンズ ホルダ - DP-S / LD レンズ ホルダ - DP フロートアーム用

イン製品のお買い上げ有難う御座います。

イン LD レンズ ホルダ - DP は、弊社 28LD マウントシリーズ アタッチメントレンズ を、対応するストロブアーム/グリップベース等に取り付け可能とする事で、水中でのクイックな着脱/交換をサポートする、デジタルカメラシステムのおトクなオプションパーツです。

製品の主な特徴

- ハネット方式のアタッチメントレンズ 取り付け部規格、イン 28LD マウントを、弊社アームホールド/グリップベース等に増設可能。
- 28LD マウントシリーズレンズ が取り付け可能なほか、深型設計の為、UFL-M150 ZM80 や UWL-S100 ZM80 といった、従来のレンズホルダでは対応できなかったレンズ/オプションも取り付け可能。

製品内訳

- | | |
|-------------------|---------------------|
| LD レンズ ホルダ-[ネジ] ① | ×1 (DP-S のみ) |
| LD レンズ ホルダ-[穴] ② | ×1 (DP フロートアーム用 のみ) |
| レンズホルダ-押え ③ | ×1 (DP-S のみ) |
| サムノブネジ ④ | ×1 (DP-S のみ) |
| 六角レンチ ⑤ | ×1 (DP フロートアーム用 のみ) |
| 使用説明書(本書) | ×1 |



取り付け対応レンズ 及び、専用オプション (2015年2月現在)

- イン 水中マイク魚眼レンズ「UFL-M150 ZM80」
+「M27-LD マウント変換リング for UFL-M150 ZM80」
- イン ワイドコンバージョンレンズ「UWL-S100 ZM80」
+「M52-LD マウント変換リング for UWL-S100 ZM80」
- イン ワイドコンバージョンレンズ「UWL-H100 28LD」
- イン クロスアップレンズ「UCL-165LD」「UCL-100LD」
- イン「AD-LD マウント変換リング for UCL-165AD」
- イン「M67-LD マウント変換リング for UCL-330/165M67」

取り付け対応アーム (2015年2月現在)

本製品を取り付けるストロブアーム/グリップベース等によって、対応する LD レンズ ホルダ - DP の種類が下記の通り異なります。今一度、取り付けを行うストロブアーム/グリップベース等に、お手元の製品が対応しているかご確認ください。

● LD レンズ ホルダ - DP-S が対応する製品

- ・ イン グリップベース DII・コムグリップ D 付, グリップベース DIII・コムグリップ D 付
- ・ イン Dホルダ-延長バーを組み合わせた、グリップベース D4, グリップベース M1, Dホルダ-
- ・ イン アームホールド(SS/S/M/L), YSアームホールド(MS/M)

● LD レンズ ホルダ - DP フロートアーム用 が対応する製品

- ・ イン フロートアームホールド(S/M/ML), メガフロートアームホールド(S/M)
- ・ イン M5ジョイントを組み合わせた、スティックアームホールド(SS/S/M/L)
- ・ イン M5ジョイントを組み合わせた、マルチホールアームホールド(ML/L/LL/XL)

● LD レンズ ホルダ-[ネジ]と LD レンズ ホルダ-[穴]を組み合わせるとの両面取付が対応可能な製品

- ・ イン アームホールド(SS/S/M/L), YSアームホールド(MS/M)

上記対応製品の使用時に限り、LD レンズ ホルダ-[ネジ]と LD レンズ ホルダ-[穴]を組み合わせることで、レンズホルダを両面取付にすることが可能です。(非 DP タイプの LD レンズ ホルダと組み合わせることも可能)
取り付けには非 DP タイプの LD レンズ ホルダ-W に付属のキャップネジが必要となります。
キャップネジをお持ちでない場合、保守部品として販売しておりますので、別途ご購入下さい。

レンズホルダ-取付方法 : ① グリップベースDII/DIII、及びアームホールド、YSアームホールドに『LD レンズ ホルダ - DP-S』を取り付ける場合

LD レンズ ホルダ-[ネジ]のレンズ取り付け側と反対の溝をアームと合わせ、下左図の様に保持し、アームを挟んで反対側からレンズホルダ-押えの「INON」ロゴが入った面を手前にして同様に重ねます (下中央図)。そのままサムノブネジをねじ込んで固定し、取り付け完了です (下右図)。



(レンズ 枠 への
取付方法続き)

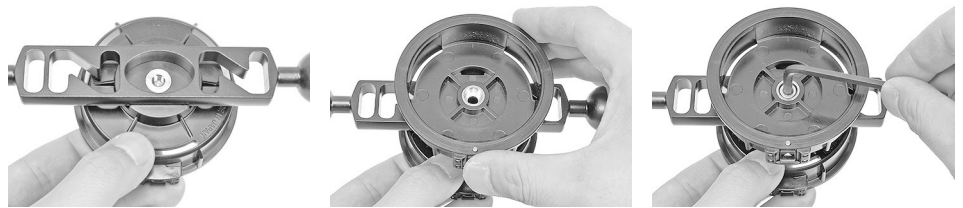
- ② 「D 枠 延長バ ー」を組み合わせた対応製品に『LD レンズ 枠 - DP-S』を取り付ける場合
取り付け/使用する場合の詳細につきましては、「D 枠 延長バ ー」付属の使用説明書をご確認下さい。
- ③ フロートアーム 及び ｶﾞ フロートアーム 枠 に『LD レンズ 枠 - DP フロートアーム用』を取り付ける場合
LD レンズ 枠 -[穴]のレンズ 取り付け側と反対の溝を、対応製品に備え付けられた“レンズ 枠 取り付け部”と下左図の様に合わせ、必ず対応製品に付属のキャップ ねじ をねじ込み、取り付けを行って下さい(下中央図)。

他製品付属のキャップ ねじ をねじ込むと、アーム本体が破損します。必ず対応製品(フロントアーム/ｶﾞ フロートアーム)に付属のキャップ ねじ を使用して取り付けを行う様、十分ご注意ください(下右図)。また、対応製品に付属のキャップ ねじ でも、締め過ぎるとレンズ 枠 本体が破損しますので、ご注意ください。



フロントアーム/ｶﾞ フロートアームには両面に 1箇所ずつ“レンズ 枠 取り付け部”がある為、上記と同様の方法で、LD レンズ 枠 -[穴]を 2個まで取り付けることが出来ます。

- ④ 「M5 ジョイント」を組み合わせた対応製品に『LD レンズ 枠 - DP フロートアーム用』を取り付ける場合
取り付け/使用する場合の詳細につきましては、「M5 ジョイント」付属の使用説明書をご確認下さい。
- ⑤ アーム 枠 及び YS アーム 枠 に、LD レンズ 枠 -[ねじ] と LD レンズ 枠 -[穴] を組合わせて両面取付する場合
LD レンズ 枠 -[ねじ]のレンズ 取り付け側と反対の溝をアームと合わせ、下左図の様に保持し、アームを挟んで反対側から LD レンズ 枠 -[穴]を手前にして同様に重ねます(下中央図)。そのままキャップ ねじ (非 DP タイプ LD レンズ 枠 - W 付属)を六角レンチを用いてねじ込み、取り付け完了です(下右図)。ねじ を締め過ぎるとレンズ 枠 本体が破損します。ご注意ください。



レンズ の取り付け方法 : 各 28LD マウントベースへの取り付け法と同じです。各レンズ 付属の使用説明書内、「取り付け方法」の項にて、「28LD マウントベース 指標 A」を、夫々「LD レンズ 枠 - 指標 A」と読み替えて下さい。

レンズ 枠 増設可能数 (2015年2月現在) : 各対応アームへのレンズ 枠 増設可能数は、以下の通りです。

対応製品	片面増設可能数	両面取付対応	最大増設可能数
グリップベース DII / グリップベース DIII	1	×	1
グリップベース D4(*1)	1	×	1
グリップベース M1(*1)	1	×	1
Dホルダー(*1)	1	×	1
アーム SS/S ボディ	1	○	2
アーム M ボディ	2	○	4
アーム L ボディ	3	○	6
YS アーム MS ボディ	1	○	2
YS アーム M ボディ	2	○	4

対応製品	片面増設可能数	両面取付対応	最大増設可能数
フロントアーム S/M/ML ボディ	1	○	2
ｶﾞ フロートアーム S/M ボディ	1	○	2
スティックアーム SS/S/M ボディ(*2)	1	×	1
スティックアーム L ボディ(*2)	3	×	3
マルチホールアーム ML/L ボディ(*2)	1	×	1
マルチホールアーム LL/XL ボディ(*2)	3	×	3

(*1) 「Dホルダー延長バ ー」を組合わせて使用した場合です。

(*2) 「M5 ジョイント」を組合わせて使用した場合です。

株式会社 イノン 〒247-0061 神奈川県鎌倉市台 2-18-9
Tel. 0467-48-2174 / Fax. 0467-48-2178
E-mail support@inon.co.jp URL <http://www.inon.co.jp/>

2015年2月